

気になる！リサーチ ～無痛分娩を知ろう～

最近よく耳にする「無痛分娩」。
自然分娩とどう違う？費用は？出産方法の1つとして知っておこう！
開院時から無痛分娩を行っているあびこクリニックさんにお話を伺いました。

無痛分娩とは？・・・麻酔を用いて痛みを緩和しながら分娩(経膈分娩)を行うことです。

Q1 無痛分娩はどんな母子にお勧めしていますか？その理由は？

■分娩によるストレスを軽減した方がいい方
(高血圧やそのほか合併症のある方)

■分娩進行が停滞している方

・・・麻酔には産道を柔らかくし、お産を進みやすくする効果があります。

前回帝王切開後の方で経膈分娩を希望される方にもお勧めしています
(いろいろな条件にもよります)



Q2費用は？普通と比べてどれくらい違う？

無痛分娩には保険適応がありません。通常の出産費のほかに、時間帯などによって50,000～90,000円の費用がかかります。

Q3あびこクリニックでの普通、無痛の割合はどのくらいですか？

全体の3割ぐらいの方が、無痛分娩で出産しています。ご本人の希望の場合もありますし、医師の判断で無痛分娩にする場合があります。

無痛分娩の流れ

背骨の隙間に麻酔薬を注入するための細いチューブを挿入します。子宮口が3～4cm開いて陣痛が強くなった時点で、痛みを和らげる麻酔薬を入れ始めます。
(一時的に吐き気、頭痛、眠気が出る場合があります)

麻酔を始めることで陣痛自体が弱くなり、陣痛促進剤が必要となる場合が多くなります。一般的には痛みが少ないため最後の「いきみ」の際に力が入らず、吸引分娩が必要となる場合がありますが、あびこクリニックでは麻酔量を調節し「いきみ」の感覚を大事にして、むしろいきみやすくなるようにしています。

※無痛分娩を計画分娩としている施設もありますが、あびこクリニックでは自然陣痛開始後に無痛分娩開始を原則としております。

※より安全に麻酔を使用するために「テストドーズ」という麻酔薬の試験投与を行い、正しい場所に麻酔針が入っているか、薬によるアレルギーはないかなど、必ずチェックしています。

無痛分娩を検討しているママ達へ

あびこクリニックでは、陣痛があり、子宮が出産の準備が出来たよ！というタイミングで『いきむ』=呼吸を大切にしています。無痛分娩だからといって、まったくいきまないわけではありません。むしろ、ちゃんと『いきむ』ように、麻酔の量を微調整しています。無痛分娩は行う病院によって、やり方や考え方が様々です。もし希望される場合は、自分の目で病院を選び、納得した上で決めることが大切です。

お話を伺った先生

医療法人緑生会 あびこクリニック
院長 橋本 明 先生

入院施設としての産婦人科を中心に産婦人科外来・助産師外来をはじめ、内科・小児科・乳腺科・歯科・美容科の外来のあるクリニック。また、からだの健康だけでなくこころの健康にも着目し、臨床心理士によるメンタルヘルス科も平成27年に開設している。

<http://www.abiko-clinic.or.jp/>



無料の院内託児室「エンゼルクラブ」。小さなお子様連れの診察でも安心！



実際に無痛分娩を体験したママさんから話を聞きました！

Q1.本当に痛くないの？

全く痛くないわけではなく子宮口が開くまでは痛みは普通の方と同じであります。

Q2実際に体験した感想は？

私には6人子供がいて5人は自然分娩、1人は高血圧の為、無痛分娩を勧められ初めての体験でしたが不安よりドキドキが大きかったです。説明はされてましたが痛くないんだと甘い考えでした(笑) 実際は出産時痛かったです。ただ痛中徐々に緩和されスーッと楽になっていくのを感じたのを覚えています。やっぱりどんな出産にも楽な出産はないんだって思い知りましたが無痛分娩はママも赤ちゃんもがんばってる中、そっと手助けしてくれる分娩方法で、貴重な体験になったなと思いました。

Q3.もし、もう1度出産するなら？

私が痛みに強いのか…私は自然分娩がよいか。ただ、母子共に健康で自然に出産出来るなら流れに任せたいです。

@m むらやま歯科 クリニック

〈受付時間〉
月火 木金 AM9:00～PM7:00
水 土 AM9:00～PM2:00
〈休診日〉 日曜日・祝日
松戸市常盤平 2-9-8 A-2
(047)394-5050



ホームページから予約できます

<http://teeeth.com>